

今後の議会広報の新たな取組について(案)

議会広報のあり方(方向性)

議会改革の動きの中で、市民への理解を深め、親しみのある分かりやすい議会を実現させるためには、これまで以上に議会広報活動を充実させる新たな取組が必要

➔ 「市議会だより」の編集及び発行を市民への情報発信の中心とすることに加え、今後は議会広報の新たな取組を検討し、実施していく

※ 今期における議会広報の新たな取組

① R3年10月 ⇒ 熊本市立千原台高校との意見交換会(参加者:高校生10名・議長及び広報委員7名)

② R4年 4月 ⇒ 熊本県立大学との意見交換会(参加者:大学生20名・議長及び広報委員9名)

★ 市民の議会や議員への理解促進等を充実させるべく、若い世代との意見交換会に取り組んだことを踏まえ、引き続き、議会広報の新たな取組を積極的に進めていく



来期以降に向けた取組への考え方

< 議会への理解促進 >

「議会や政治への参加」を推進する取組

☞ 市民に対し、議会や議員への理解と興味・関心を持ってもらう取組(機会)を検討する

< 議会の情報発信 >

「伝わる議会広報」を推進する取組

☞ 市民に対し、議会の情報や活動を広くわかりやすく伝える取組(手法)を検討する